

南城市立大里中学校

連絡先 TEL : 098-945-2442

Eメール : oochu-kyoutou@edu.nanjo.okinawa.jp

【沖縄県教育委員会研究指定校】

研究主題 「主体的な学習を促す組織的授業改善の推進」

サブテーマ

～数学科における振り返りシートの工夫と単元の核となる授業の探求を通して～

1 実践事項（研究指定校としての取組）

- (1) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に関する理論研修
- (2) 各教科の実践発表を通じた「参観の視点」の共有化
- (3) 数学科における取り組み
- (4) 「主体的に学習に取り組む態度」を高める手立ての工夫

2 実践内容

- (1) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に関する理論研修

① 6/29(木)オンライン講話

演題：「生徒一人一人が主体的に学ぶ授業づくり」

講師：お茶の水女子大学附属中学校 藤原大樹教諭

参加者は本校職員だけではなく、南城市内の算数・数学科の先生方にも参加を募りました。最近の国の教育施策のお話しながら、ご自身の中学校数学の指導を例に、問いを生む教材の選び方や、生徒が問いを発したくなる授業の準備など、お話ししていただきました。

中でも、結果・過程の見通しと結果・過程の振り返りを含む、4つの「見通す・振り返る」学習活動については、数学科だけでなく、他教科の先生方にとっても授業改善のヒントになったようでした。

講話のあとは、参加者同士で講話の内容をシェアする時間を設け、学習の振り返りの方法について、お互いが気軽に意見交換ができた充実した研修会になりました。

最後に藤原先生が講話の中で、主体的に学習に取り組む態度を見取るだけではなく、「高める指導」が重要だと述べられていました。この研修を機に、本校は「主体的に学習に取り組む態度」を「いかに見取るか」だけでなく、「いかに高めるか」へと視点をシフトしていくこととなります。



【結果の見通し】

達成すべきゴールを見据え、イメージすること

【過程の見通し】

ゴールへの手順を把握したり方法や手立てを考えたりすること

【結果の振り返り】

得られたものの意味や価値を明確に意識化すること

【過程の振り返り】

課題解決に至るまでのプロセスにおける要点を把握すること

## (2) 各教科の実践発表を通じた「参観の視点」の共有化

### ① 8/23(水)校内研修：「主体的に学習に取り組む態度」を高める指導と評価について



6月のオンライン講話を受け、夏休みの校内研修では、「『主体的に学習に取り組む態度』を高める指導と評価」について、各教科で実践している内容を発表してもらいました。具体的には「粘り強

く取り組む力」と「自己調整力」を高める指導、また、それらをどのように見取り、評価に繋げるかについて発表がありました。

その後、各グループに分かれ、先ほどの各教科の発表内容に共通していることは何かについて話しあいました。話しあい活動をより焦点化するために、「粘り強く取り組む力を高める指導」と「自己調整力を高める指導」の2つの視点を決め、各グループから授業改善の取り組みに関するキーワードを発表してもらい、本校の授業改善の視点として次のようにまとめました。



表してもらい、本校の授業改善の視点として次のようにまとめました。

#### ①粘り強く取り組む力を高める指導の視点

個人の目標や課題解決の見通し・道筋を持たせる指導の充実を図る

#### ②自己調整力を高める指導の視点

協働的な学びを通じたアウトプットの機会と振り返り活動の充実を図る

### ② 9/15(金)校内研修：数学科主事招聘研究授業（全体研修）

9月15日(金)に本校数学科大村智子先生による3年数学の授業を全職員で参観しました。授業参観の視点は8月の校内研修で共有した前述の2つの授業改善の視点です。お隣の大里南小学校の先生方（4名）にも参観していただきました。



既習事項を振り返り、発問を工夫することにより、生徒に新たな視点を与え、多様な解決方法を引き出す。



生徒同士でお互いの解決方法をアウトプットし、比較したり、教え合う協働的な学びの場面を設定した。



授業改善の2つの視点をもとに、授業リフレクションを行い、各グループのまとめを発表、全体で共有しました。



【島尻教育事務所 奥原絵理子指導主事】  
具体的な子どもの姿（予想反応）で授業をデザインしましょう！子ども目線で！

### ③ 10/30(月)校内研修：島尻教育事務所教科総合訪問（全体研修）

10月30日(月)に島尻教育事務所教科総合訪問を行いました。今年度は、国語、外国語、道徳、特別活動で公開授業を実施。その後、各教科部会で授業リフレクションを行い、各教科指導主事から貴重な助言を賜りました。



【国語（3年2組）】 授業者：糸洲里南 教諭  
（単元名）実行委員会へ提案！持続可能な「ふる伝」を目指して

#### 【指導助言より】

- 生徒の興味・関心をしっかりと引き出しながら、自分たちで解決していく必要性を感じて学んでいる姿が見られた。
- 「立場」を明確に意識させ話し合うのは難しいところではあるが、今後の研究を続け、授業づくりに活かしてほしい。



【外国語（3年1組）】 授業者：金城綾香 教諭  
（単元名）Program 5 The Story of Chocolate

#### 【指導助言より】

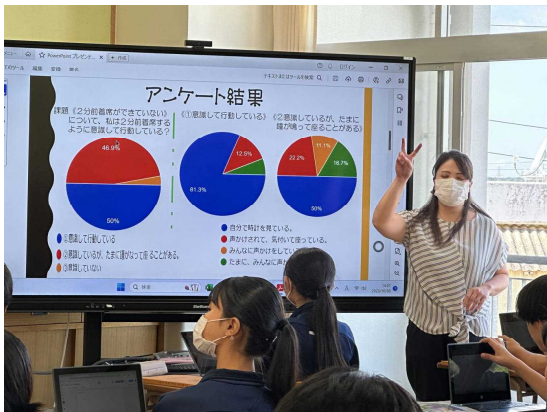
- 生徒が中心の授業展開、丁寧な言語活動の設定、学級の支持的風土、生徒同士の学び合える雰囲気等から、授業力・指導力の高さが感じられた。
- 1時間における活動を精選し、メインの言語活動の時間を十分に確保することで、更なる言語活動の充実を図るとよい。



【道徳（2年2組）】 授業者：照屋紗苗 教諭  
（单元名）「自分」ってなんだろう

【指導助言より】

- 中心場面において、友達の考えに触れ、考えられるようタブレット端末を活用し、多様な意見を取り上げていた。
- 深い学びへ繋げるためには、導入でのアンケートやテーマ、展開での言葉の贈り物、リフレーミングの活動を教材での学びと結びつけ、さらには自分との関わりで考えさせるとよい。



【特別活動（2年1組）】 授業者：兼元稚佳 教諭  
（单元名）2年1組レベルアップ作戦会議③

【指導助言より】

- AIテキストマイニングやジャムボードを活用し、生徒が思っていることや考えていることを効果的に引き出していた。
- 生徒の発言で注意すべき場面では、教師が毅然とした態度で適宜声かけを行い、みんなでより良い学級集団を創ろうとする雰囲気大切に育ててほしい。

(3) 数学科における取り組み

① 「単元の核となる授業」について

「単元の核となる授業」とは、単元の第1時から身に付けてきた力を十分に発揮して、生徒が試行錯誤しながら、自立的に協働的に問題を解決する授業を意味し、島尻地区の算数・数学科の研修会や公開授業で共有されている内容です。単元の中では主に、既習事項を使って問題を解決する発展的な内容を扱う場面が多く、本校数学科では、「単元の指導と評価の計画」や「振り返りシート」に単元の核となる授業を位置付けています。また、1つの学年を複数の教師で担当しているため、毎週の教科会等で単元の核となる授業について検討しています。

/	6	知	符号と絶対値での加法の計算の仕方がわかる	
/	7	思	加法の交換法則・結合法則のよさについて考える	
/	8	知	減法の計算の仕方がわかる	

単元の核となる授業を太枠で明示した

② 振り返りシートの工夫について

単元の指導と評価の計画をもとに、各学年の担当で振り返りシートを作成しています。4月当初は全学年統一した振り返りシート（毎時間の振り返りと自己評価を記入する）を使っていましたが、単元が進むにつれ、学年の発達段階や学習状況に応じて、各学年で工夫を重ねてきました。例えば、1学年では、小単元を1つのまとまりとして捉え、毎時間の授業の繋がりを意識して振り返りさせたいという意図から、毎時間の振り返り記入を小単元ごとの記入に変更しました。

11/8	3	思	多角形の外角の和の求め方について考え、説明することができる。	① 外角の和は360°に一定であった。 ② 任意の3角形に外角を求め、その和が360°になることを確認する。 ③ 任意のn角形に外角を求め、その和が360°になることを確認する。	A
11/13	4	知	直線が交わってできる角の性質を理解する。	【キーワード】 対頂角 同位角 錯角 【振り返り】	A
11/14	5	知	平行線の性質および平行線になるための条件について理解する。	① 対頂角の関係、同位角の関係がわかった。 ② 2本の直線と関係している角を見つめ、見分けられるようになった。	A
11/20	6	思	三角形の内角の和、外角の性質について説明することができる。	① 任意の三角形の内角の和が180°になると証明できた。 ② 証明を何人も見直し、覚えるようにした。	B

大事なことばやキーワードを追記し、小単元ごとに振り返りを記入する

### ③ 9/18(火)教科研修(数学):藤原大樹先生招聘公開授業

9月18日(火)に6月の校内研修でお世話になったお茶の水女子大学附属中学校藤原大樹教諭をお招きし、「主体的な学習を促す効果的な指導と主体的に学習に取り組む態度の評価」のテーマで示範授業並びに公開授業を行っていただきました。

午前中は示範授業の後、大里中学校数学科が同じ内容の授業(再現授業)を行い、午後からの公開授業並びに講演会には島尻地区内の小中学校の先生方50名余りが参加しました。



示範授業より。生徒の発表のときの教師の立ち位置が重要。聞き手側の生徒の表情から理解状況を見取る。



示範授業の板書をもとに、授業リフレクション。数学教科会で活発な意見交換が行われました。



午後の公開授業より。意図的な机間指導で、子どもやる気を促す。



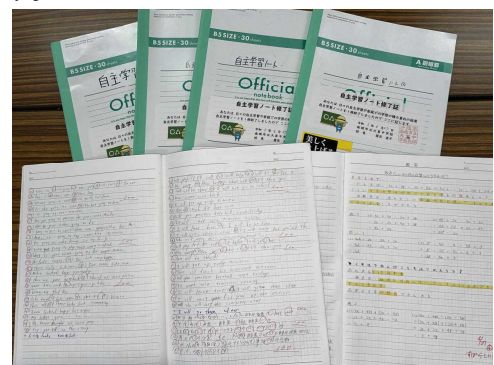
藤原大樹先生による講話。大里中数学科並びに島尻地区数学科の先生方のために、ありがとうございました。

### (4) 「主体的に学習に取り組む態度」を高める手立ての工夫

#### ① 自主学習ノートの取り組み

今年度から自主学習ノートの取り組みを始めました。4月に生徒全員に自主学習ノートを配布し、ノートを一冊終わるごとに担任を通じて校長先生にノートを提出します。ノートに修了証を貼付して生徒に返却され、新しいノートを学級担任からもらいます。

ノートは毎週木曜日の放課後、学習委員会が回収、チェックしています。



生徒会学習委員会が週1回チェック

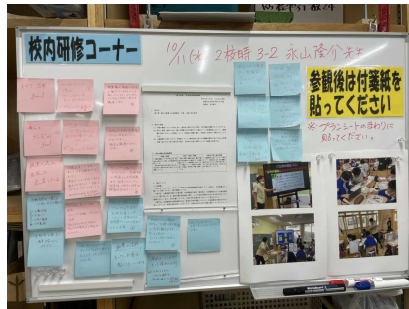
## ② 校内研修だより等を通じた授業改善の取り組み

校内研修だよりでは、校内研修の様子や感想などを振り返ったり、全国学力・学習状況調査の結果分析を共有するなど、授業改善や学力向上に関する情報を提供しています。

また、職員室に校内研修のコーナーを設け、一人一公開授業の告知や授業後の感想を付箋紙で貼付したりすることで、公開授業を参観できなかった職員もどんな授業だったかを共有する場として活用しています。さらに、全体研修後の授業リフレクションで使ったシートも職員室内に掲示し、職員全体の授業改善に対する雰囲気づくりを心がけています。



一人一公開授業後のリフレクションの様子。教頭先生も入っていい光景です。



職員室内に校内研修コーナーを設置。貼られている付箋は、後日、授業者に渡します。



公開授業後に感想が書かれた付箋を見ながら、自身の授業を振り返る。

## 3 成果

- 沖縄県児童生徒質問紙調査の質問(10)、(13)の結果より、生徒同士の話しあい活動を通じて自分の考えを深めたり、決めたことに協力して取り組む姿勢が見られた。
- 教師向けの学校評価アンケート「授業では生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできるよう工夫している。」の肯定的な回答率が89.7%(7月)→94.4%(12月)であった。「『主体的に学習に取り組む態度』を高める授業改善の2つの視点」について全職員で考え、共有することで、授業改善に対する意識が高まった。

	質問	7月(%)	12月(%)
(10)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	86.8	87.8
(13)	学級みんなで話し合っただけ決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	85.7	88.1

※あてはまる、どちらかといえばあてはまるのいずれかを回答した割合

- 外部講師を招聘し、南城市、島尻地区合同の研修会を実施することができた。
- 数学科において、核となる授業の設定について検討したり、振り返りシートの工夫・改善に取り組んだりすることを通して、教科会を充実させることができた。

## 4 課題

- 沖縄県児童生徒質問紙調査の質問(8)、(9)の結果より、課題解決の見通し・道筋を持たせたり、粘り強く課題に取り組む力を高める指導を充実させたい。
- 他教科の授業を参観する職員が昨年に比べて増えたとはいえ、まだ消極的である。
- 授業改善の2つの視点をどのように効果的に学習評価に繋げればよいか、検討する必要がある。

	質問	7月(%)	12月(%)
(8)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	59.2	49.7
(9)	これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	82.9	78.2

※あてはまる、どちらかといえばあてはまるのいずれかを回答した割合